

平成26年度 市民活動支援事業

成果報告書

はじめに

「霧島市市民活動支援事業」は、「共生・協働のまちづくり」の一環として、市民活動団体が行う公益的・公共的な活動に対して経費の一部を補助するという平成 20 年度から実施している事業であり、これまでに 88 団体、そして、平成 26 年度は新たに 9 団体がこの制度を活用し、様々な活動に取り組みました。

この「平成 26 年度霧島市市民活動支援事業成果報告書」は、事業の活動内容や成果等を広く知っていただくとともに、今後の市民活動の参考としていただくことにより、「共生・協働によるまちづくり」が本市全体に更に広がることを期待して取りまとめたものである。

〈 参 考 〉平成 26 年度 霧島市市民活動支援事業応募・採択内訳

【選考審査の結果】

区 分	応 募	採 択
団 体 数	10 団体	10 団体
NPO 法人	4 団体	4 団体
その他の団体	6 団体	6 団体
事 業 数	10 事業	10 事業

【分野別内訳】

分 野 別	応 募	採 択
保健・医療・福祉	2	2
社会教育	2	2
まちづくり	3	3
学術・文化・芸術・スポーツ	2	2
子どもの健全育成	1	1
合 計	10	10

目 次

(団 体 名)	(ページ)
1 特定非営利活動法人 陽だまり	1
2 霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会	3
3 特定非営利活動法人 Joyステーション	5
4 牧園町麓地区街づくり促進会	7
5 特定非営利活動法人 きりしま創造舞台	9
6 ぼくらのマルシェ（霧島隼人秋の収穫祭）実行委員会	11
7 特定非営利活動法人 霧島食育研究会	13
8 こどもエンカレッジアート霧島	15
9 オーシャンビューガーデンクラブ	17

＜ 参 考 ＞ 各団体の補助額等について

目次 番号	事業名	事業費	補助額
1	自閉症支援セミナー(自閉症の理解と支援)	597,313 円	57,000 円
2	霧島市溝辺ふるさと祭り	487,691 円	200,000 円
3	園芸療法によるボランティア人材養成プロジェクト	750,032 円	490,000 円
4	牧園町麓地区農育事業	1,224,351 円	500,000 円
5	平成 27 年度国民文化祭イベント市民参加型 ミュージカル「大隅浪漫～1300 年の時空を超えて ～」2014 公演事業	2,772,323 円	500,000 円
6	ぼくらのマルシェ(霧島隼人秋の収穫祭)	975,544 円	270,000 円
7	霧島版「和食」検定	750,304 円	487,000 円
8	「脳トレ」「アート」「読み語り」ワークショップ ～人と人の絆を育てる異世代交流～	1,002,765 円	500,000 円
9	旧田中家別邸を生かすふるさと再発見事業	139,863 円	30,000 円
合 計		8,700,186 円	3,034,000 円

自閉症支援セミナー（自閉症の理解と支援）

＜特定非営利活動法人 陽だまり＞

事業費：597,313円

市補助金：57,000円

目 的（背景・課題）

発達障害児（自閉症等）は年々増加傾向にあるといわれているが、診断がなされても適切な支援・療育を受けられる場が極めて少ない現状がある。そのような適切な支援・療育を必要とされるニーズに答えること、幼稚園・保育園から小学校、小学校から中学校と発達障害児（自閉症等）の進級に伴う障害特性等の情報のつながりも地域での課題となっていること、発達障害児（自閉症等）の特性を見る視点を正しく理解しているのと否とでは療育方法に大きくずれが生じ、強いでは発達障害児（自閉症等）の将来に大きな影響を及ぼす結果となること、これらを踏まえて、発達障害児（自閉症等）の支援・療育に携わる関係者が自閉症の理解と支援方法について継続的に学び、現場で一貫した、継続した支援・療育がなされることを願い、本事業を継続事業として計画し、霧島の地から発信したいと考えた。

事 業 内 容

自閉症支援セミナー（自閉症の理解と支援方法について）の開催

対象者 教育、支援・療育事業所、行政（福祉）
の関係者、保護者、一般

会 場 国分総合福祉センター

①第1回 6月21日～22日

1日目 40名（会費：3,000円）

「自閉症の特性理解と支援について」

「保護者・チームとの協働について」

2日目 26名（会費：6,000円）

ワークショップ「アセスメントからの自立課題」（幼児編）

②第2回 11月29日～30日

1日目 50名（会費：3,000円）

「トップダウンの視点に立った幼児期から成人期の教育・支援」

2日目 20名（会費：6,000円）

「教育・支援の現場で活かせる自立課題のアセスメントからの自立課題」（学齢期編）

講師（①②）：水野 敦之 氏

所属：社会福祉法人つつじ（広島県）

こども発達支援センターぐるんぱ

統括ディレクター

事 業 の 成 果

1回目のセミナーは未就学児童、2回目は学齢期児童に協力をもらい実施する中、1回目は対象となる年代を受け持つ市内の幼稚園・保育園の教職員、2回目は小・中・支援学校の教職員、障害者就労関係の職員等のセミナーのテーマに沿った関係者が多く参加されていたことに加え、過去に参加履歴のない保育園、幼稚園、障害児・者の支援事業所の参加も多く見られた。

実際の児童に協力をもらい開催できたことは、参加者にとっても有意義であり、より具体的な支援のイメージがつかめたものと思われるとともに、日常の支援に活用できるものとも思われる。

自己評価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

学齢期のお子さんは小学から高校までの年代がある中、今回は高校1年生の児童に協力をお願いしたが、参加者はそれぞれが担当されている年代が見たかったのではないかとと思われる。児童の協力は安易ではないため、参加者の関わる年代については事例発表の対象児童でカバーすることが可能かと考える。

3. 予算執行

多少の変更があった。

参加者の掘り起こしを丁寧にやってきたことやセミナーのテーマ・内容を教育関係者・療育関係者が興味を引くものとしたことで、参加者が増加し収入も増加した。それに対応するために課題設定を増加させたことによる支出の増加である。

4. 今後の展望

今年度の参加者は昨年度からのリピーターに加え、初参加の保育園・幼稚園・事業所等も見られたことから、参加者の興味・関心を引く内容・質のセミナーを提供することにより、新たな参加者の掘り起こし、強いては自閉症の理解と支援が広がることと確信する。

5. その他

実際児童に協力をもらえたことと、陽だまりの実践報告ができたことで、セミナーで学んでいることは、机上の空論ではなく実際に結果が出ていることだと参加者は実感できたものと思う。

また、所属先に持ち帰り検討する課題を提供できたものと思う。

陽だまり

平成26年度 NPO法人陽だまり 自閉症教育・支援セミナー

NPO法人陽だまりでは、自閉症の特性を軸とした幼児期から成人期にかけての一貫した支援を支えるセミナーをこれまで実施してきました。今回も2日間の講座と演習付きのセミナーを実施します。

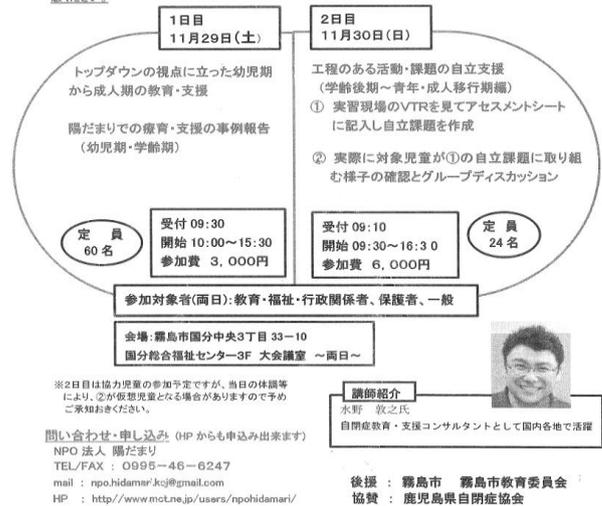
1日目は、トップダウンの視点から、年代ごと(幼児期や学齢前期・学齢後期・移行期・成人期などの年代)の課題として、どのようなポイントを意識しなければならないかを考えてみたいと思います。

また、陽だまりでの幼児期・学齢後期を対象とした療育・支援の事例報告をいたします。

2日目は、実際に学齢後期の対象者に協力してもらいながら、アセスメントから指導・支援を導きだし、自立への一連の工程をグループワークとして体験していただきます。今回は学齢後期～移行期の課題設定を中心としたアセスメント及び計画・実施の演習を実施します。

これを機会に、多くの方々に自閉症の特性・支援について学び・活用していただければと思っています。

※2日目の参加については(両日参加の場合でも)、受講条件(裏面申込書に記載あり)がございますのでご注意ください。



団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人 陽だまり

〈代表者〉 伊藤 悦朗

〈設立日〉 平成 23 年 6 月 27 日

〈会員数〉 49 人

〈主な活動内容〉

増加傾向にあるといわれる発達障害児(主に自閉症)に特化して、専門性を持った療育を児童福祉法に基づく事業所にて実施する。

自閉症への理解と支援方法を広めるため、教育・行政・療育・保護者を対象にセミナーを開催する。

〈連絡先〉

所在地

〒899-4322

霧島市国分福島一丁目 19 番 20 号

TEL 0995-46-6247 (FAX 兼用)

霧島市溝辺ふるさと祭り

<霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会>

事業費：487,691円

市補助金：200,000円

目的（背景・課題）

溝辺地区では販売農家数が多いが、高齢化や後継者不足の課題があり、溝辺町にて昭和57年に農業祭として「農村振興大会」を開催し、また「文化祭」をとりまとめて29回の開催があった。

30回目より住民主体の祭りとなり溝辺地区住民の恒例行事となっている。

農業者や住民が一体となって取り組む祭りの存在意義は大きく、農業振興の一助を担っており、住民主導で行う今回で33回目の祭りによって、より一層の地域活性化を図る。

事業内容

霧島市溝辺ふるさと祭りの開催

日時：11月1日（土）～2日（日）

午前8時30分～午後4時

場所：上床公園

対象者：地域住民・一般市民

参加者数 1,500名（推定）

スタッフ数 90名

内容

11月1日～2日

・作品展示（文化協会、1幼稚園、3小学校、2中学校）

・写真展（4保育園）

11月3日

・舞台発表（文化協会、1保育園、3小学校、1公民館）

農林産物販売（各農林業団体等）及び品評会

地元特産品等抽選会

事業の成果

文化祭と農業祭を併せて開催することができ、農林産物の品評会・販売促進で地産地消が図られた。また、舞台発表や郷土芸能の発表で、伝統芸能の継承等が図られ、郷土愛の意識を深められるなど、溝辺地区の地域活性化につながった。

自己評価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

なし。

3. 予算執行

多少の変更があった。

実行委員会の中で、毎年、天候を気にしながら実施するため、自分たちでテントのおもりの作成を行った。

4. 今後の展望

農業者や住民が一体となって取り組む霧島市溝辺ふるさと祭りの存在意義は大きく、溝辺地区の地区活性、農業振興の一助を担っており、住民主導の祭りとして、より一層の地域の活性化をめざして、継続して開催していく。

5. その他

地域が連携してふるさとの祭りとして継続して開催できるよう、自主運営できる工夫、協力体制の継続、声かけが大事だと感じた。



ごあいさつ 実行委員長 岩元 晃一

秋風がそよよ吹く今日この頃ではありますが、溝辺町の皆さんいかがお過ごしでしょうか。みんなが楽しみにしていますふるさと祭りが始まりました。今年も第33回を迎えました。

合併後の市政の中で、祭りの一本化が図られています。私は、合併はしても祭りだけは各町の歴史・文化と思い、長くずっと続けていかなければならないと思います。今年で、実行委員会で取り組む祭りが4年目を迎えました。多数の参加で町外からのお客も増えました。

これもみなさまの協力によるものだと思います。お金はなくても手作りの祭りでやろうという意気込みのもと、溝辺地区自治公民館連絡協議会、溝辺総合支所、文化協会、技連会、商工会、JAの皆さんや他団体と連携をとり今後も頑張ります。

今年もふるさと祭りの会場について、議論致しましたが、みそめ館を中心にしたほうがいいとのことでした。市民の皆さん、多数ご参加ください。



<p>作品展示 みそめ館内</p>	<p>野外イベント みそめ館前 10:00～</p>
<p>お楽しみ抽選会 みそめ館 15:00～</p>	

団体情報

〈団体名〉霧島市溝辺ふるさと祭り実行委員会

〈代表者〉岩元 晃一

〈設立日〉平成23年8月11日

〈会員数〉10人

〈主な活動内容〉

- 平成23年 霧島市溝辺ふるさと祭り
- 平成24年 霧島市溝辺ふるさと祭り
- 平成25年 霧島市溝辺ふるさと祭り

〈連絡先〉

所在地

〒899-6401

霧島市溝辺町有川 212 番地

TEL 0995-59-2705

園芸療法によるボランティア人材養成プロジェクト

< 特定非営利活動法人 Joy ステーション >

事業費：750,032 円

市補助金：490,000 円

目的（背景・課題）

平成 25 年 10 月 31 日の霧島市の高齢化率のデータによると 26.37%と確実に増加している。しかも、高齢者のみの世帯数と独居老人の世帯も増加傾向にある。

超高齢化社会を迎えている中で、「お助けマン霧島」として高齢者の買い物支援や病院等への交通支援を行っているが、もう一つの支援として高齢者の親しみやすい園芸を通じて機能改善療法として園芸療法での支援を目的とする。

事業内容

「園芸療法サポーター養成講座」開催

- ① 9 月 27～28 日 6 名受講
- ② 10 月 11～12 日 6 名受講

事業の成果

松永公民館では、園芸療法サポーター養成講座の修了者による指導で、毎月 10 名の高齢者が園芸療法創作アートを楽しまれた。クリスマスシーズンにはクランツ、他には匂い玉、こけ玉などを作製した。

園芸療法創作アートの受講者に幸福度調査を行ったところ、受講後の方が幸福度は上昇していた。

自己評価

1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

園芸療法養成講座の修了者が「園芸療法創作アート」として高齢者に公民館や事務所で楽しく指導してくれるようになり、その数が増えている。既に翌年度のスケジュールも決定している。

2. 改善すべき課題

今年度は補助を受けることができたため、参加費無料で園芸療法創作アートを実施したが、翌年度からは参加者負担での継続を検討している。

3. 予算執行

ほぼ予定どおり執行できた。

4. 今後の展望

政府は、介護保険法の改訂を決定し要支援 1 と要支援 2 を 29 年度までに自治体に移行する。そのため、各自治体においては介護予防と生活支援サービスが大きな課題となる。介護予防と生活支援サービスの一つとして園芸療法創作アートは、他の地域では成果を上げており、今後は自力で実践していきたいと考えている。

5. その他

参加者が 6 名と少なかったことが残念だった。

園芸療法サポーター養成講座の案内

「お助けマン霧島」では高齢者の精神的&肉体的健康の為に園芸療法を推薦しています。
今回は、霧島市の市民活動費助成金をいただき日本園芸療法普及協会から講師の先生を霧島市にお招きして園芸療法サポーター養成講座を開催いたします。

霧島市は高齢化率が 23.8%となっています。高齢者に元気な日常生活を送っていただく為に癒し効果があるとされる園芸療法を市民の方々に習得していただき、将来は園芸療法医サポーターとしてボランティアに参加していただきたいと考えています。

第一回 園芸療法サポーター講座

日 時：2014年9月27～28日、10月11日～12日
午前10時～15時

会 場：霧島市商工会 2階会議室；0995-42-2128
講 師：日本園芸普及協会専務理事、児玉良治先生

*本の実でのプロテーゼ製作風景



応募人数：20名
費 用：1回につき千円（作品製作+テキスト）
●修了者には「園芸療法サポーター認定賞」を発行します。

講義内容

9月27～28日

1回	園芸療法とはなにか？園芸療法の歴史と状況
2回	園芸療法の現場紹介、活動の評価方法
3回	高齢者に対する園芸療法
4回	子供に対する園芸療法

10月11日～12日

5回	さまざまな対象者
6回	園芸療法で採用される植物
7回	関連する療法、栽培の基礎
8回	園芸療法の設備と道具、園芸療法の仕事と資格



日本園芸療法普及協会鹿児島支部

NPO法人 お助けマン霧島
〒899-5106 霧島市隼人町内山田 1-3-37
電話：0995-42-3212
FAX：050-5005-3010
理事長：村上光信



団 体 情 報

〈団体名〉特定非営利活動法人 Joy ステーション

〈代表者〉村上 光信

〈設立日〉平成 25 年 3 月 7 日

〈会員数〉14 人

〈主な活動内容〉

平成 25 年～ 高齢者の買い物や通院支援

〈連絡先〉

所在地

〒899-5112

霧島市隼人町内山田 1-3-37

TEL 0995-42-3212

牧園町麓地区農育事業

<牧園町麓地区街づくり促進会>

事業費：1,224,351円

市補助金：500,000円

目的（背景・課題）

牧園町麓地区の市街地に長年の間 1,500 m²の農地が耕作放棄地となっていた。そこに竹やあし草が生い茂り、マムシやイタチなどが生息していた。また、牧園小学校近くで危険な場所であった。なお、街並みの景観も悪く周辺の住民も心を痛めていた。そこで地域住民が立ち上がり、借地や権利取得等により麓地区街づくり促進会のメンバーで開墾して耕し牧園小学校児童たちや老人クラブの方たちも参加して「耕作放棄地に愛の手を」のタイトルで農育文化交流を立ち上げた。サツマイモ、トウモロコシなどを作付けして収穫の喜びを分かち合い、高齢者は心の放棄地が満たされ健康と生きがいがづくり、子どもたちには農育の伝承を行い、賑わいとふれあいの輪の広がりや協議して、耕作放棄地を「愛の手農園」に甦らせることが地域の活性化を生み、地域振興を促進させることが目的である。

事業内容

① 作付前の準備作業

日時 4月中旬～5月中旬

場所 愛の手農園

対象者 当会員、農育文化交流会の賛同者

② 土壌改良、土質調査、研修会の開催

日時 5月中旬

場所 牧園小学校体育館（大雨のため）

講師 宇田成徳 工学博士（元農水省農業普及員）

対象者 当会員、老人クラブ、農育交流賛同者、牧園小学校児童（計114名）

内容 「やさしい農業」
土壌改良についての講演講習

③ 農育（植付）交流会

日時 5月中旬～下旬

場所 愛の手農園

対象者 牧園小学校児童、当会員、老人クラブ、農育交流会賛同者（計20名）

内容 作付実施（サツマイモ、トウモロコシ、里芋、コスモス、ひまわり）

④ 農業先進地研修会の実施

日時 12月初旬

場所 宮崎県綾町 都農ワイナリー

内容 土壌改良研修

⑤ 農作物管理作業

日時 6月～10月

場所 愛の手農園

対象者 当会員、農育交流会賛同者

内容 生育管理、鳥獣害防護柵、風雨対策

⑥ 収穫祭（サツマイモ、サトイモ）

日時 11月14日

場所 愛の手農園

対象者 牧園小学校児童、当会員、老人クラブ、農育文化交流会賛同者（計145名）

内容 サツマイモ、サトイモの収穫祭

⑦ 菜の花植付

日時 10月下旬

場所 愛の手農園

対象者 当会員

内容 耕運機で耕し、菜の花を植付。

事業の成果

- ・耕作放棄地の解消につながった。
- ・農育を通して、小学生から高齢者までが仲良くし、もって牧園町麓地区の活性化につながった。

自己評価

1. 事業効果

期待していた以上の効果が上がった。

2. 改善すべき課題

交流を発展させるため植付と収穫時のみではなく作物の成長時の管理、草取りなど夏休み期間中にできないかなど協議して交流の時間を増やしたい。

3. 予算執行

農業生産者としての経営を勉強する必要があること、長雨などの天候不順により計画どおり進まなかったことにより大きな変更を余儀なくされた。

4. 今後の展望

広報活動により地域外の参加者を募集して農育交流を広めたい。

生産した有機作物を直売所方式で販売できないか検討したい。

5. その他

収支が計画どおり執行できなかった。
経営的な勉強の必要性を感じた。



ふるさと（農）を次世代へ伝承



団体情報

〈団体名〉 牧園町麓地区街づくり促進会

〈代表者〉 和田 新蔵

〈設立日〉 昭和 59 年 9 月 23 日

〈会員数〉 8 人

〈主な活動内容〉

平成 25 年 耕作放棄地を開墾し、地元小学生と住民によるサツマイモ等の植付と収穫

〈連絡先〉

所在地

〒899-6507

霧島市牧園町宿窪田 2113 番地 1

TEL 090-7357-7127

平成 27 年度国民文化祭フレイイベント 市民参加型ミュージカル 「大隅浪漫～1300 年の時空を超えて～」 2014 公演事業

事業費：2,772,323 円

< 特定非営利活動法人きりしま創造舞台 >

市補助金： 500,000 円

目 的 (背景・課題)

小学生から高齢者までの市民がミュージカルの体験を通して、異年齢集団の交流を図る市民参加型ミュージカルを公演する。

当公演は「命の継承」と「誇れる郷土」をテーマに大隅建国 1300 年の歴史、文化、自然や史跡などを振り返る。また、役者やスタッフとして市民が参加することでミュージカルをより身近に感じ、それらを通してふるさと霧島や鹿児島県の文化の発展と、次代を生きる青少年が夢と希望を持って将来を担う人材として成長することを目的とする。なお、当公演は平成 27 年度国民文化祭のフレイイベントとして市民の国民文化祭への理解度と認知度の向上を目指す。

事 業 内 容

- ①4 月 12 日 オーディション開催
- ② " 稽古開始 (全 47 回)
- ③6 月 13 日 お披露目会、PR、
チケット販売開始
- ④7 月 20～21 日 合宿
- ⑤4 月～8 月 小道具・衣装制作
- ⑥8 月 9～10 日 本公演 (1,600 人)

事 業 の 成 果

・平成 27 年度に開催される国民文化祭の機運の盛り上げにつながった。

・観覧者からは「霧島市のことを知ることができた」「一生懸命の姿に感動した」などの多くの感想をいただき、霧島市の自然や歴史、文化の再発見と郷土愛の醸成につながった。

・稽古を通じて子どもたちが生き生きと成長する様子をうかがうことができた。

・実行委員会体制での運営により、様々な業務を通じて一人ひとりの成長につながった。

自 己 評 価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

安定的に活動を継続するための資金確保が必要であり、きりしま創造舞台のサポート会員の拡大を目指す。

公演を運営するスタッフの充実のために他団体との連携を図る。

3. 予算執行

ほぼ予定どおり執行できた。

4. 今後の展望

「誇れる郷土」と「命の継承」をテーマにしながら市民参加型のミュージカルを続け、青少年の健全育成、演劇文化の定着を図りながら、郷土愛を育み、文化の発展に役立ちたい。また、市とともに平成 27 年度の国民文化祭の機運を盛り上げていきたい。

5. その他

稽古の中で子どもたちがいきいきとしており、私生活の面においても積極的な態度をとることができるようになった。公演終了後も福祉施設の慰問や市主催イベントへの出演など活動を続けており、青少年の健全育成につながっている。



団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人 きりしま
創造舞台

〈代表者〉 木下 明子

〈設立日〉 平成 24 年 12 月 12 日

〈会員数〉 59 人

〈主な活動内容〉

平成 25 年 大隅国建国 1300 年記念事
業市民参加型ミュージカル
の公演

〈連絡先〉

所在地

〒899-5121

霧島市隼人町内山田一丁目 19-10

TEL 0995-43-2400

**第30回国民文化祭・かごしま2015プレイベント 市民参加型ミュージカル
公演名「大隅浪漫～1300年の時空を超えて～」Z014公演
実施要項**

1. 目的

平成27年は、鹿児島県が国民文化祭を開催いたします。それを受けて霧島市は7つの事業を実施しますが、その一つが「霧島漫劇祭（ミュージカル）」です。国民文化祭に向けて平成26年プレイベントとして、市民参加型ミュージカル「大隅浪漫～1300年の時空を超えて～」Z014を公演いたします。

この公演は、「生命の継承」と「誇れる郷土」をテーマに、市民の皆様と一緒に大隅国建国1300年の歴史、文化、自然や史跡などを振り返ると同時に、役者やスタッフとして参加していただくことでミュージカルをより身近に感じていただき、また、それらを通してふるさと霧島市や鹿児島県の文化の発展と、次代を生きる青少年が夢と希望を持って将来を担う人材として成長することを目的としております。また、国民文化祭の認知度の向上を図ります。

2. 主催

NPO 法人きりしま創造舞台

3. 主管

きりしま創造舞台ミュージカル公演実行委員会

4. 特別協賛

きりしま創造舞台サポート会正会員（18社）
鎌田建設（株）、霧島市建設同志会、霧島商工会議所、（株）九州タブチ、空港自動車学校、
国分電機（株）、医療法人昭山会佐藤医院、末重建設（株）、普山建設（株）、タケシタ調剤
薬局（株）、（株）テクノクロス九州、（株）トヨタ車体研究所、ナンニチ、
ナンニチホーム、（株）平島、マイクロカット（株）、南日本新聞圏分中央・国分北販売所
溶岩焼薩摩屋（五十音順）

5. 後援（予定団体）

霧島市 霧島市教育委員会 鹿児島県 鹿児島県教育委員会 霧島市PTA連絡協議会
霧島市子ども育成連絡協議会 霧島市文化協会 公益財団法人鹿児島県文化振興財団
鹿児島県文化協会

ぼくらのマルシェ（霧島隼人秋の収穫祭）

事業費：975,544円

<霧島隼人秋の収穫祭実行委員会>

市補助金：270,000円

目的（背景・課題）

食品の偽装表示や東日本大震災の原発事故により、食の安心安全が見直されている。観光面でも地産地消、食育、顔の見える収穫物の消費に関心が高まっている。子どもたちと一緒に農作物を作り、食事をし、土や作物、また、たくさんの大人や周囲の人々と触れ合っ、地域食の伝承、農業体験を行うことにより、体験型観光の足がかりとするとともに、地域の活性化を図る。

事業内容

年間を通して農業、料理体験を行うことで、地域の豊かな自然や農産物、体験観光に触れ、食育や地域社会の理解と地域活性化に取り組む。

- 5月 芋植え体験
- 6月 田植え体験
- 7月 お茶摘み体験
- 8月 案山子作り体験
- 9月 蕎麦の種まき体験
- 10月 稲刈り体験
- 11月8日 「僕らのマルシェ」(秋の収穫祭)
(入場者：2,000名)
- 2月 そば打ち体験

事業の成果

地域の子どもたちを中心とした参加者は、食育や農業体験、自然体験を通じて、地域の様々な方面の大人から地域、食育、風習、歴史などを教わったり、一緒に汗を流したりすることにより、体験型の観光資源として、食育の場として、地域の絆や活性化としてのこの地域の良さを知ることができた。参加してくれた子どもたちは、初めての農業体験などを通じて自分の住む地域の良さを再確認し歴史や食育にも大いに興味を持ってくれた。

自己評価

1. 事業効果
期待していた効果が上がった。
2. 改善すべき課題
子どもたちが中心の体験学習は喜ばれるが、その準備・費用・人員がかかる。継続的な事業にするための工夫が必要である。
3. 予算執行
多少の変更があった。
「収穫祭」の日程が、霧島市の「ふるさと祭」と重なってしまい、出店数や入場者が昨年より少なかった。
4. 今後の展望
地域の様々な団体に協力をいただいた。地域の活性化や子どもたちの未来について関わったネットワークを生かして、費用をかけずにできることをしていきたい。
5. その他
継続できるように努力したい。

霧島版「和食」検定

< 特定非営利活動法人 霧島食育研究会 >

事業費：750,304円

市補助金：487,000円

目的（背景・課題）

「和食 日本人の伝統的な食文化」が無形遺産に登録され、世界に向けて「和食」を発信しようという気風になっている。これは、日本人がこれまで日本の風土の中で作り上げてきた「和食」を振り返る良い機会になると思われる。

「和食」には、素材の旬にこだわり、地域の風土・気候に根ざし、材料を使い切り無駄にしない工夫が生きている。また、食器・箸などの道具や、四季のうつろいの取り込みなど、見て美しく楽しいことも特徴であり、食べる人を喜ばすとともに、調理法も多様で幅広い。さらに日本の食事スタイルは理想的な栄養バランスと言われ、まさに世界に誇るべき食と言える。

一方、家庭でも欧米の料理が手軽に食べられるようになった半面、「和食」に親しむ機会は減っており、「和食」の未来を支える足元は危うい面もある。家庭のみならず学校や地域で「和食」の魅力を味わい、特色を学び、食材や調理法を受け継いでいく取組が欠かせないと思われる。

今回提案する、霧島版「和食」検定は、「和食」の持つ多様な魅力を、霧島の地域に根差した食文化の中で、「食材」「道具」「作法」「調理法」「盛り付け」「一汁二菜の献立」「郷土料理」等の視点から学ぶものである。

事業内容

- 1 「知っておきたい日本の食べ物」
～ジュニア 霧島版「和食」検定～
対象者：小学5年～高校生（16名）
 - ① 7月13日 ごはん編
 - ② 8月10日 味噌汁編
 - ③ 9月23日 おかず編
 - ④ 10月21日 おやつ編
 - ⑤ 11月9日 一汁二菜編

- 2 「知っておきたい日本の食べ物」
～シニア 霧島版「和食」検定～
対象者：成人（24名）
 - ① 7月18日 基調講演
 - ② 8月12日 霧島の濃厚と食文化
 - ③ 9月26日 錦江湾と食文化
 - ④ 10月31日 霧島山麓の暮らしと食文化
 - ⑤ 12月19日 次世代に伝えたい霧島の食
- 3 霧島版「和食」検定の実施
 - ① 11月30日（22名）
 - ② 2月15日（30名）
- 4 テキストの作成及び配布

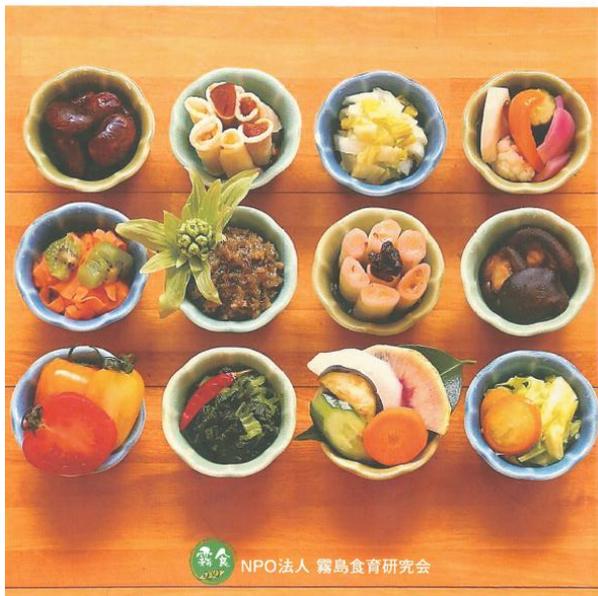
事業の成果

- ・ジュニア霧島版「和食」検定では、市内の小中学生～高校生16名が、炊飯から一汁二菜の料理実習を通し、調理の基礎を学ぶことができ、最終回の講座では、自分で献立から調理までを実践し、食材を選び工夫して料理を作る技を習得できた。復習をすることで何回も料理し、時間短縮や手間を減らす工夫を実践できた。
- ・自分の食生活や食文化への興味関心の啓発につながった。
- ・シニア霧島版「和食」検定では、自分の住む地域の食べ物に興味を持ち、料理をし、伝えていくことで、自分の住む場所への誇りや自分が育った環境、親や子への思いを改めて強く感じる事ができた。
- ・霧島版「和食」検定の実施には、短時間で参加できる検定用紙及び認定書を使用し、霧島の食文化を効率的に学ぶ事ができた。
- ・テキストを作成し、関係団体、公共施設等に配布することで、霧島の「和食」を通じた食文化への興味啓発と食文化継承が図られた。

知っておきたい
日本の食べもの

霧島の 和食本

霧島版和食検定テキスト



NPO法人 霧島食育研究会

認定証

知っておきたい日本の食べもの

霧島版和食検定

シニア向け

年 月 日

当研究会の霧島版和食検定講座を、受講終了したことを証します。
これからも霧島の食文化を大切に、家庭や地域で継承していくことを期待します。

NPO法人 霧島食育研究会
〒899-4201 鹿児島県霧島市霧島田口1653-2

理事長 千葉しのぶ

自己評価

1. 事業効果
期待した効果が上がった。
2. 改善すべき課題
なかった。
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
霧島食育サポータークラブと連携して事業を進めていきたい。
5. その他
特になし。

団体情報

〈団体名〉 特定非営利活動法人霧島食育研究会

〈代表者〉 千葉 しのぶ

〈設立日〉 平成17年9月15日

〈会員数〉 13人

〈主な活動内容〉

1. 「霧島・食の文化祭」開催
2. 「霧島の子どもと大人のための食育プログラム」
3. 「霧島食べ物伝承塾」
4. 「霧島・畑んがっこ」子ども組
5. 「霧島・畑んがっこ」畑遊び組
6. 鹿児島・大人のための食育セミナー開催
7. 棚田食育士養成食育実践講座開講
8. 南日本新聞「鹿児島食育レシピ」掲載

〈連絡先〉

所在地 〒899-4201

霧島市霧島田口 1653-2

TEL 0995-57-0215 (FAX 兼用)

「脳トレ」「アート」「読み語り」ワークショップ ～人と人の絆を育てる異世代交流～ 子どもエンカレッジアート霧島

事業費：1,002,765円

市補助金：500,000円

目的（背景・課題）

震災以来「絆」という言葉が合言葉のようになったが、人と人とが、直接関わりあうことを避ける傾向があり、その風潮が「感謝の心」「想像力」の低下の原因の一つとなっている。それらを育むツールとして「脳トレ」「アート」「読み語り」のワークショップを通して、自分と他人・社会・自然、様々な「つながり」を発見・確認し、「孤立の社会」から、「共生の社会」への目覚めを目的とする。

事業内容

開催日：毎月1回（平成26年5月～
平成27年2月）

場所：横川温泉センター、公民館

対象者：小・中学生、高校生、シニア、親子

内容：

- ①脳トレ；音読、早口言葉、両手書き、
100マス計算、記憶トレーニング
- ②アート；「読み語り」と連動した絵本づくり
を中心に、紙漉きにも挑戦
- ③読み語り；様々なジャンルの、通常サイズ
から大型サイズまでの絵本の読
み聞かせ、読み語りを行う。

事業の成果

・子どもも高齢者と同じ会場で、同じプログラムに参加することで互いの発見や意見を見聞きしつつ、違いや共通点なども発見し、互いを尊重する心を育むことができた。

・価値観の違いを超え、また共通点を学びつつ、異差を認めつつの作業となり、「感謝の心」「同苦の心」「想像力」を育む異世代交流となった。

・ワークショップ参加により、またスタッフの励ましにより、「できない…」「不得意…」が「できる！」「できた！」に変わり、互いを「励ます」言葉がどんどん出てきた。

自己評価

1. 事業効果

期待した効果が上がった。

2. 改善すべき課題

ワークショップ終了翌日くらいに、外部講師も交えての反省会ができれば良かったと思う。しかし、一週間前の打合せができたことにより、昨年度より充実したと感ずる。

3. 予算執行

多少の変更があった。

2月までの実施予定であったが、12月の開催ができず、3月までの実施となった。また、2月は会場の関係から屋外でのプログラムとなったが、天候に恵まれ、無事開催することができた。

4. 今後の展望

スタッフ移動や家族の様々な理由で、来年度の活動を見合わせる事となったが、残ったスタッフで新たな人材の輪を広げ、引き続き活動をする準備をしている。

5. その他

特になし。

霧島市市民活動支援事業

「脳トレ」「アート」「読み語り」
～人と人の絆を育てる異世代交流～



会場：「横川健康温泉センター」教養倶楽室

日時：5月25日（日）午前10時～午後3時

参加費無料 / お弁当付 / 定員：40名まで

お電話にて、先着順受付中（お早めに！）

子ども・大人・おじいちゃん・おばあちゃん 大集合！

感動と笑いを共有し、讃えあう、異世代交流！
子どもの能力開発・高齢者の認知予防・楽しい多種の「脳トレ」
手漉き和紙づくり・絵手紙制作、気軽に楽しめる伸び伸び「アート」
子どもも大人も、心温まる絵本「絵本読み聞かせ・読み語り」

主催：こどもエンカレッジアート霧島

事業名：「脳トレ」「アート」「読み語り」
～人と人の絆を育てる異世代交流ワークショップ～

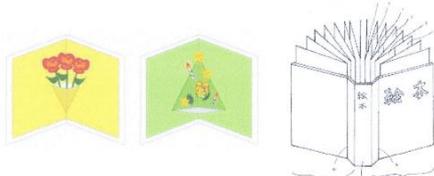
お申込みは（お問い合わせも、ご遠慮なく）
070-5418-0824 / 日高まで

自由研究なにしよう・・・

夏休み 自由研究に！！！！

絵本づくり！飛び出す絵本も！

絵が、にがてな人も、だいじょうぶ！
だれでもつくれる伸び伸び絵本！



会場：「横川健康温泉センター」教養倶楽室

日時：7月27日（日）午前10時～午後3時

参加費無料 / お弁当付 / 定員：40名まで

お電話にて、先着順受付中（お早めに！）

子ども・大人・おじいちゃん・おばあちゃん 大集合！

霧島市市民活動支援事業

主催：こどもエンカレッジアート霧島
事業名：「脳トレ」「アート」「読み語り」
～人と人の絆を育てる異世代交流ワークショップ～

お申込みは（お問い合わせも、ご遠慮なく）
070-5418-0824 / 日高まで

団体情報

〈団体名〉 こどもエンカレッジアート霧島

〈代表者〉 原口 洋子

〈設立日〉 平成22年2月2日

〈会員数〉 9人

〈主な活動内容〉

「アート」「音楽」「ヨガ」の異世代交流
のワークショップ開催

〈連絡先〉

所在地 〒899-6303

霧島市横川町中ノ 285-2

E-mail ssmyoho.jp@yahoo.co.jp

旧田中家別邸を生かすふるさと再発見事業

事業費：139,863円

<オーシャンビューガーデンクラブ>

市補助金：30,000円

目的（背景・課題）

県及び市指定有形文化財で郷土が誇る「旧田中家別邸」は、主の田中省三翁の建造物、庭園、旧福山中学歴史資料館、東野駄句楼句碑等、観る者を引きつける魅力のある素晴らしい施設であり、一般に無料開放されている。当事業は、この施設を中心とした地域の魅力を宣伝し、当地に観光客を誘導することを目的とする。その一端として、現状の施設を活かしたイベントを企画、開催する。

事業内容

- 1 おきな草祭り
開催日 4月1日～4月30日
内容等 「別邸に映える押し花絵画展」も同時開催
(押し花体験コーナーあり)
- 2 福山湾岸ウォーク
開催日 5月11日
参加者 40名
- 3 故郷を語る会
開催日 11月3日
参加者 20名
- 4 福山湾岸ウォーク(街歩きウォーク)
開催日 11月30日
参加者 20名

事業の成果

- ・ウォークは、申し込みを断るほどである。スタッフ不足のため応えられてはいないが、その面をクリアすれば大規模な取組が可能である。イベントが浸透してきている。
- ・故郷を語る会は、東京では若尊会(福山出身者の会)でも、議題として取り上げられているとのことで、3回目を迎えた今回は、関東・関西からの出席もあった。
- ・押し花体験も好評で田中家別邸を活用したイベントを他にも開催してほしいとの要望が出てきている。しかし、四季折々の美しさをアピールしているが、普段訪れても、誰もおらず何も無いなどの意見も聞かれた。

自己評価

1. 事業効果
期待していた以上の効果が上がった。
2. 改善すべき課題
スタッフの不足。
3. 予算執行
ほぼ予定どおり執行できた。
4. 今後の展望
会員の高齢化が進んでいるので、福山町下場地区活性化協議会から実行委員会を立ち上げて、さまざまなイベントを広く地域住民と開催していきたい。
5. その他
特になし。



絶滅危惧種 “幻の花”
おきな草

福山に春を呼ぶ おきな草まつり

平成26年4月1日～4月30日(但し毎水曜定休日)
開門8:30～閉門17:00 《入場無料》

駐車場(下記をご利用下さい)
1:福山小学校駐車場
2:福山池公園駐車場
3:福山郵便局前駐車場



イベント情報

おきな草苗プレゼント(各日先着50名様)
1回目 4月6日(日) 午前10時より
2回目 4月13日(日) 午前10時より

★同時開催★

別邸に映える押し花絵画展
4月13日(日)～4月27日(日)
押し花体験コーナーあり(葉・葉書など)

主催/オーシャンビューガーデンクラブ

旧田中家別邸〒899-4501 鹿児島県霧島市福山町福山2926番地
TEL090-8229-8650(小松)

団体情報

〈団体名〉オーシャンビューガーデンクラブ

〈代表者〉恒吉 明美

〈設立日〉平成23年6月1日

〈会員数〉25人

〈主な活動内容〉

- 平成23年5月 クラブ結成
- 平成25年4月 おきな草祭りの開催
- 〃 福山湾岸ウォーク開催
- 平成25年11月 故里を語る会の開催
- 平成25年12月 第4回福山湾岸ウォーク、霧島神楽の舞開催

〈連絡先〉

所在地 〒899-4501

霧島市福山町福山 3136

TEL 0995-55-2618 (FAX 兼用)

E-mail akemi17@po3.synapse.ne.jp

2014年11月30日(日)
第6回福山湾岸ウォーク

いにしえ街道。紅と黄のかけ橋へGO!

往復約2km散歩コース
旧田中家別邸～浦町街道～宮浦宮(休憩)

集合・解散場所:旧田中家別邸

名勝:旧田中家別邸

募集人員:各コース20名
期間:11月5日(水)まで

Aコース:午前9時30分集合
(午前10時出発)

Bコース:午前11時30分集合
(正午12時出発)

参加費:おひとり¥500-
(弁当希望者は+¥500-で承り)

名勝:古井戸と石垣
(肥後の石工 岩永三五郎作)

名勝:宮浦宮

◎参加にあたってのご注意
1.小雨決行します。天候に合わせて服装等十分準備をしてください。

主催:オーシャンビューガーデンクラブ
お問い合わせ:090-7445-8854(恒吉)

平成 26 年度
霧島市市民活動支援事業成果報告書

平成 27 年 9 月

〒899-4394 霧島市国分中央三丁目 45 番 1 号
霧島市役所 企画部 共生協働推進課

T E L 0995-64-0988 (直通)

F A X 0995-47-2522

E-mail kyodo@city-kirishima.jp